

# 公益社団法人 日本交通計画協会

## 平成28年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 平成29年6月20日（火）10時00分より11時20分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会  
3階 B・C会議室  
所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号

3. 理事現在数 7名  
監事現在数 2名

4. 出席理事数 7名  
出席監事数 2名  
(出席理事) 谷口守、中田康弘、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和、  
石川次男、石川雅康  
(出席監事) 須原庸次、曾田祐司

### 5. 開会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 谷口守は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

### 6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の4名となった。

- ・代表理事 谷口守
- ・代表理事 中田康弘
- ・監事 須原庸次
- ・監事 曾田祐司

## 7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

### 承認事項

- 第1号議案 平成29年度事業計画書の承認の件
- 第2号議案 平成29年度収支予算書の承認の件
- 第3号議案 加入申込書の様式変更の承認の件

### 報告事項

- 報告第1 職務執行報告
- 報告第2 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の報告

## 8. 議事の経過及び議決の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

第1号議案 平成29年度事業計画書の承認の件

第2号議案 平成29年度収支予算書の承認の件

議長は上記2議案につき一括して説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、平成29年度の事業実施方針と、それに基づく具体的な事業計画について説明をした。平成29年度は平成28年度とほぼ同様の事業を展開する予定であること、自主研究として重点的に取り組むテーマが5項目であることを説明した。本年度は、①BRTシステムに関する研究、②次世代地域交通に関する研究、③街路事業の新たな展開と都市空間のあり方に関する研究、④駅周辺地区等における官民連携推進方策に関する研究、⑤我が国におけるLRTシステムのあり方に関する研究の5項目を選定し、平成28年度実施の研究を継続して行いたい旨説明した。

続いて業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により平成29年度の収支予算について以下のように説明した。経常収益については、平成28年度とほぼ同額の6億2300万円余と予想しているが、これは交通計画研究所において、来期の受託見込み額を計上し、事務局においても平成28年度の実績額を勘案して精査し、現時点で契約が確実と見込まれる案件、さらに受託につながられる可能性のある案件の状況から計算すると、6億円程度の事業収益を見込むことができることを説明した。また、経常費用については、平成28年度の運営実績を勘案の上、支出内容を見直して精査し、6億

1950万円と予想している旨説明した。その結果、最終的な当期一般正味財産増減額は27万円強の増となり、前年度予算と比較すると後退するものの、収入支出とも直近の実績値を参考にしつつ見積もりをしているので、事業収益、支出額に大きな変動がなければ、収支相償を満たした運営を行うことができると見込んでいる旨説明した。なお、平成29年度は資金調達及び設備投資の見込みについては予定がないことを説明した。

両議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(岸 井 理 事) 入会金の会計上の帰属は全額一般会計か。

(石川業務執行理事) 当協会では特別会計の設定はないが、入会金、会費収入については、公益目的事業会計と法人会計に半分ずつ帰属させている。

(岸 井 理 事) 退会時に入会金は返還しているのか。

(石川業務執行理事) 返還はしていない。

(岸 井 理 事) 会費の会計上の帰属についての制約はあるのか。

(石川業務執行理事) 半分は公益目的事業財産に充てなければならないが、残りについての使途は特に定められていない。ただし、使途の方針はきちんと決めておく必要がある。

(岸 井 理 事) 海外調査団派遣の収入支出はどこに計上されているのか。

(石川業務執行理事) 公4事業に含まれるが、協会が行う事業範囲は調査の企画立案であり、調査団員の募集、派遣に伴う交通機関等の手配については、旅行業法の規定上、旅行業者が行っており、旅行費用の徴収、支出は協会の会計には入らない。派遣に伴う収支に余裕が生じれば、旅行業者から僅かばかりではあるが、企画料として収入が得られる場合があり、事業収益として計上される。

(岸 井 理 事) 収支の余裕を活用し、若手研究員の派遣をするようなことはないのか。

(石川業務執行理事) 行っている。できる限りそのような派遣ができるように収支予算の計画をしている。

(石 川 理 事) 事業実施方針は、国土交通省等から示される政策に則って策定するようなことはしているのか。

- (石川業務執行理事) 具体的な政策として形成される以前から国土交通省とは勉強を行っており、その中で、今後の時流と言えるような施策を見つけて、それらのテーマを掘り下げるような事業計画をしている。
- (谷口代表理事) セミナーの講演内容も、そのようなテーマを取り上げるような取り組みをしているのか。
- (石川業務執行理事) セミナーについては、それぞれのセミナーの性格により、今後の政策を紹介するもの、それにこだわらず広い視点で問題を掘り下げるもの等がある。色々な性格のセミナーをバランス良く実施したい。
- (川 畑 理 事) 自動運転技術は、自動車メーカーサイドの問題と思うが、協会ではインフラ側で整備することの方を扱うのか。
- (石川業務執行理事) 自動運転については、どのような方向に進むのか、まだわからない面がある。自動車メーカーの方針も会社により温度差があるようである。協会で取り組む内容は、インフラもあるだろうし、法制度の問題を解決することもあるし、どのような使い方をするかソフト面の検討も必要になると思われる。現段階では、想定される色々な問題を広く勉強する予定でいる。
- (谷口代表理事) 最近大きく変わりそうなものとして、研究分野では、MaaS (Mobility as a Service) と呼ばれるものがあり、ヘルシンキでは、シェアリングや自動運転等とセットで、公共交通のサービスレベルを選択できるようなものが考えられているが、自動車側と公共交通側の境界がはっきりしなくなってきた部分もあると思う。
- (石川業務執行理事) 協会では、自動運転だけでなく、シェアリングシステム等も含めて公共交通のあり方を勉強しているので、当面は広めに勉強していきたいと考えている。

議長は両議案につき個別にこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、平成29年度事業計画書及び平成29年度収支予算書を承認した。

### 第3号議案 加入申込書の様式変更の承認の件

議長は上記1議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、昨今の都市交通システム関連技術の海外展開にあたり、外国政府等から協会の組織、特に会員名簿について問い合わせを受けることが生じてきたため、現在加入中の社員については個別に照会して英文表記の名簿を整備したものの、今後の対応を考慮し、加入時、名称変更時に届出を受けようとするためのものであることを説明した。

同議案説明に対しての質疑応答は特になし。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、加入申込書の様式変更を承認した。

報告事項として、以下について報告を行った。

#### 報告第1 職務執行報告

議長は上記につき報告をさせた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により平成28年度の中間報告として、刊行物発行、講習会・シンポジウムの開催、広報関係の実績、国際会議・催し物等開催協力、受託案件調査研究事業、についての報告を行った。

同報告説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 近年の年間受託件数は60件前後あるが、現在の組織規模からすると、これは適正な量なのか。受託量をセーブするようなことはあるのか。

(中田代表理事) これ以上多くなると、職員の現有能力を超えることとなり、このあたりが適度かと思う。受託量をセーブするようなことは特になく、ちょうど良くバランスしているところかと思われる。

(石川業務執行理事) 業務が増えることは結構だが、収支のバランスも変化することになり、収支相償と職員の執行能力を勘案しつつ受託量を考える必要がある。

## 報告第2 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の報告

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、去る2月22日に内閣府及び公益認定委員会の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査を受けたこと、直ちに改善を求められる指摘は特段なかったこと、研究成果を広く社会に還元する事業構造と研究の質の高さを評価されたこと、役員報酬に関する定款、役員報酬規程の一部に根拠が不明確な部分、内容が曖昧な部分が見られるため、早い時期に規程類を改正する等、抜本的な解決を検討するよう指示されたことを説明した。あわせて、抜本的解決のためには、定款及び役員報酬規程の改正が必要となること、改正内容を理事会決議した上で総会承認を得る必要があることを説明した。

同報告説明に対しての質疑応答は特になく、次回理事会までに各自検討し、次回理事会において、定款及び役員報酬規程の改正について審議することとした。

### その他の事項

事務局より、平成29年9月上旬頃に、平成29年度第1回理事会を開催し、さらにその2週間後を目途に定時社員総会を開催したい旨を説明した。

理事・監事全員で協議したところ、平成29年度第1回理事会を、平成29年9月6日（水）9時30分より開催することを、また、定時社員総会を9月22日（金）17時00分より開催することを決定した。

### 9. 閉会

以上をもって平成28年度第4回理事会の議事を終了したので、議長谷口守は、11時20分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以 上

平成29年6月20日

公益社団法人 日本交通計画協会 平成28年度 第4回理事会

代表理事 谷 口 守

代表理事 中 田 康 弘

監 事 須 原 庸 次

監 事 曾 田 祐 司

本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事	石川雅康
事務局主幹	柴崎慶一郎
事務局主幹	大溪はつみ

